35

レッキス工業 株式会社

http://www.rexind.co.jp/



多様な機械工具を製造する本社工場

ライフラインを支える 配管用機械工具の総合メーカー

平成29年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

グループ溝加工機の生産性向上による ハウジング形管継手の拡大

■ 事業概要

配管用鋼管同士の接合に、管先に溝を施す「グループ溝加工機」の需要が近年増えている。大口径管（外径89.1㎜以上）の接合で用いる溶接配管は、溶接工の減少と火気を嫌う現場の増加でハウジング形管継手によるグループ形状接合が普及してきたためだ。このため、加工機を製造する同社は増産や品質向上、コスト削減を目的に「ものづくり補助金」を活用して、横形マシニングセンタを導入。加工工数を14.3％削減し、増産や生産コスト削減、品質向上につなげた。



導入した横形マシニングセンタ

課題	取組	成果
●グループ溝加工機の生産性向上	●横型マシニングセンタの導入	●増産
●生産コスト削減		●生産コスト削減
●品質向上		●品質向上

■ 業務内容

「切って」「つないで」「ケアする」

同社は大正14年創業の配管用機械工具の総合メーカー。90年を超える歴史を持ち、水道やガスといったライフラインを支える配管に関わる分野で市場をリードしている。鋼管の接合でねじ加工を施す主力製品の「パイプマシン」（切削ねじ加工機）は国内シェアの約70％を占める。消火配管などで使用する「グルーブ溝加工機」の国内メーカーは同社が唯一で、同シェアもほぼ100％となっている。加工機性能では自動調芯機能により管端部の径の広がり（ラッパ形状）を抑制し、作業経験に関係なく安定した溝加工を可能にしている。

強める長寿命化への対応

手がける配管用機械工具の優位性には、使い勝手の良さを追求した製品開発とともに宮川純一社長は「全国で修理が可能という安心感。その一方で壊れないというユーザーからの信頼が事業を長く続けてこられた原動力になっている」と話す。“切って”“つないで”までの製品を軸に展開してきた同社は近年、配管を“ケアする”用途も増やしている。配管内検査のカメラや、排水管のつまりを除去する排水管クリーナー、高圧洗浄機など、配管の長寿命化ニーズへの対応も強めている。配管関連以外では、競走馬の調教コースなどに敷く衝撃吸収材「ポリトラック」や飼料などを扱う「ホースアメニティ事業」を行っている。



増産を進めるグループ溝加工機

■ 強みとビジョン

耐震施工と省力化に貢献

先進的な製品・技術の提供でも存在感を発揮している。重点をおく地震対策には鋼管の耐震性能を高める「ねじ転造加工機」をいち早く開発し、普及にあたっている。塑性加工でねじ形状を変化させるもので、溶接配管と同等の強度がある。

水道・ガス用の耐震管材であるポリエチレン管（ＰＥ管）では、ＰＥ管の接合を容易にする「電気融着コントローラー」を共同開発した。共同開発では依頼を受ける案件も珍しくなく、手がける事業に相乗効果をもたらしている。



耐震性能を高めるねじ転造加工機

ＩｏＴで養殖場の水質管理に着手

新規事業にも着手し、令和元年11月にはＩｏＴ（モノのインターネット）を活用した陸上養殖場の水質管理システムを市場投入した。養殖場の酸素濃度などを計測し、水資悪化が予測される場合には、作業者の端末に警告メッセージを出すシステム。勘と経験に頼っていた水質管理が初心者にも行え、養殖業への新規参入にも役立つ。今後の展開について宮川社長は「配管用機械工具は成熟産業であり、海外展開のほか、成長産業とされる中のニッチなところ狙っていきたい」と語り、新規事業に挑む姿勢を明確にしている。



ＰＥ管向け電気融着コントローラー

「顧客価値創造商品」に努める



当社は経営理念に掲げる「三利の向上」の実践によりお客さま、社員、社会がともに「笑顔いっぱい」になる経営に取り組んでいます。築き上げてきたブランド力や技術開発力、お客さまとの太いパイプが当社の強みです。今後も社会に不可欠で、当社がオンリーワンやシェアナンバーワンの実績を持つ「顧客価値創造商品」の提供に努めてまいります。



代表取締役
宮川 純一

- **社　名**　レッキス工業 株式会社
- **代表者**　代表取締役　宮川 純一
- **住　所**　〒542-0086
  大阪市中央区西心斎橋1－4－5
- **ＴＥＬ**　06－6245－3158
- **ＦＡＸ**　06－6245－6327
- **資本金**　90,000千円
- **従業員**　186名

- **主な取引先**　機械工具商社、管材商社
- **主な保有設備**　立形・横形マシニングセンタ、ＮＣ旋盤、ＣＮＣ旋盤、ブローチ盤、３Ｄ測定器他
- **主力製品**　パイプねじ切り機、パイプ切断機、ＰＥ管融着機器、グループ溝加工機、銅管工具、管内カメラ他

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　海外対応　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

同社の配管用機械工具のシェアの高さは、社会のニーズに応え、顧客とともに社員を大切にする経営理念にある、と感じた。平成３１年２月に経済産業省の「健康経営優良法人」の認定を受けたこともその一例といえる。労働人口の減少で省人・省力化を求める社会のニーズは今後さらに高まる。経営理念をもとにこれに応える製品・技術開発や宮川社長の「成長産業のニッチなところ」を目指すという新規事業にも注目していきたい。